

平成19年度事業報告

財団法人神戸大学六甲台後援会は、本年度、昭和32年の財団創立以来50周年を迎えました。そこで、本財団では、これを記念して、平成19年5月25日に記念式典（記念講演を含む）を行うとともに、これに先立つ5月12日に記念シンポジウムを開催いたしました。同時に、社会科学系学部・研究科における教育の充実を目的として、社会科学特別奨励賞（略称「凌霜賞」）の創設と社会科学系3学部相互履修科目開講の支援を決定し、次年度からその運用を開始することにいたしました。

このような50周年記念事業を含めた本財団の平成19年度（平成19年4月1日～平成20年3月31日）の事業報告及び財務諸表につきましては、平成20年6月23日に開催されました理事会及び評議員会で監査報告を含めて報告・承認されたところですが、ステークホルダーの皆様方に当財団の活動内容をご理解いただきたく、ホームページ上で、①学術交流の促進、②学術成果の公開、③教育の充実、④学術基盤の整備、⑤学術交流施設の維持という、本財団が行う主要な事業の別に、その助成又は補助の概要についてご報告させていただきます。

1 学術交流の促進

(1) 海外研究活動支援（海外研究活動や海外学会派遣等への助成）・・・ 20,104千円

○経済学研究科 (4,363千円)

・竹内憲司准教授（平成19年6月～7月、中国・インド）

目的：持続可能性に関する研究打合せ及び資料収集他

・中西訓嗣教授（平成19年8月～11月、カナダ）

目的：貿易政策論に対するゲーム理論の応用研究に関する資料収集

・田中康秀教授・萩原泰治教授・竹内憲司准教授（平成19年10月、中国）

目的：中国山東大学経済学部との第6回共同研究会への出席及び学術交流についての意見交換

・宇南山卓准教授（平成20年3月～5月、アメリカ）

目的：消費行動に関する分析についての情報収集及び研究打合せ

○経営学研究科 (6,491千円)

・與三野禎倫准教授（平成19年6月、オーストラリア）

目的：国際共同研究に関する打合せ及びセミナーへの参加

・鈴木竜太准教授（平成19年7月、オーストラリア）

目的：EGOS (European Group & Organization Studies) への参加

・島田智明准教授（平成19年8月、アメリカ）

目的：Academy of Management 国際会議での研究発表

・清水泰洋准教授（平成19年8月、カナダ）

目的：The 5th Accounting History International Conference への出席・報告

・高橋 潔教授（平成19年8月～20年8月、イギリス）

目的：人的資源管理に関する長期在外研究

- ・馬 岩准教授（平成19年11月、アメリカ）

目的：The Fall 2007 Midwest International Economics and Economic Theory Meeting への出席

- ・清水泰洋准教授（平成20年3月～7月、イギリス）

目的：企業の原始記録を用いた会計史研究

○法学研究科 (5,000千円)

- ・濱本正太郎教授（平成19年7月～9月、フランス）

目的：国際法に関する調査研究

- ・角松生史教授（平成19年8月～9月、ドイツ）

目的：行政法・都市法に関する資料収集・研究打合せ

- ・井上由里子教授（平成19年8月～20年9月、イギリス、オランダ）

目的：エジンバラ大学におけるセミナー出席及び知的財産法に関する法政策の研究

○国際協力研究科 (2,750千円)

- ・小川啓一教授（平成19年9月～20年1月、アメリカ）

目的：途上国における人的資源開発の研究に係る資料収集

- ・木村 幹教授（平成20年3月～4月、オーストラリア）

目的：「東アジアにおけるナショナリスティック・ポピュリズム」に係わる現地調査

- ・橘 永久准教授（平成20年3月～4月、アメリカ）

目的：東南アジア圏における望ましい通貨協力、共通通貨の可能性についての研究打合せ

○経済経営研究所 (1,500千円)

- ・下村研一教授（平成19年12月～20年5月、アメリカ）

目的：市場と組織の経済理論と実験に関する共同研究

- (2) 学会・シンポジウム等開催支援（国内学会・国際学会・シンポジウム・フォーラム・セミナー・ワークショップ等開催への助成）・・・・・・・・・・2,997千円

○経済学研究科 (30千円)

- ・21世紀COEプログラム（COEカンファレンス）

（平成19年11月30日、参加者数30名）

テーマ：新しい日本型経済パラダイム—グローバル化と人口減少下の持続可能経済

○経営学研究科 (717千円)

- ・第58回ワークショップ（平成19年6月19日、参加者数82名）

テーマ：トップアスリートのキャリアトランジションから学ぶ

- ・第59回ワークショップ（平成19年9月16日、参加者数105名）

テーマ：「強い経営部門」のつくり方

- ・第60回ワークショップ（平成19年11月18日、参加者数51名）

テーマ：会社の評判—「良い会社」と呼ばれる企業はここが違う—

- ・第18回シンポジウム（平成19年12月2日、参加者数213名）

テーマ：「企業価値と神戸」—神戸企業の実例から学ぶ—

- 経済経営研究所 (2,250千円)
 - ・国際カンファレンス(平成19年11月16～25日、招聘研究者数11名(うち海外7名))
 - テーマ: Conference on Globalization, International Trade, and Economic Dynamics
- (3) 財団創立五十周年記念事業 2,514千円
 - 記念シンポジウム(平成19年5月12日、神戸ポートピアホテル) (2,173千円)
 - テーマ: 21世紀の経済社会システムの行方
 - ・基調講演(猪木武徳国際日本文化研究センター教授)
 - ・パネルディスカッション
 - コーディネータ: 加護野忠男経営学研究科教授
 - パネリスト: 猪木武徳国際日本文化研究センター教授
植村武雄小泉製麻株式会社社長
片山善博慶応義塾大学大学院法学研究科特別研究教授
松波 潤国際協力研究科教授
 - 記念式典・記念講演会(平成19年5月25日、六甲台本館206教室) (341千円)
 - ・記念講演(五百旗頭眞防衛大学校校長)
 - テーマ: 激動する世界と日本
- (4) グローバルCOEプログラム申請支援 3,250千円
 - 法学研究科・経済学研究科 (1,450千円)
 - ・法経連携シンポジウム(平成20年1月14～15日、ホテルプラザ神戸)
 - 経済経営研究所・国際協力研究科 (1,800千円)
 - ・国際カンファレンス
 - (平成20年3月21日、ホテルクラウンプラザ神戸他、参加者数35名)
 - テーマ: Economics of Diversity: Issues and Prospects
- (5) その他 500千円
 - ・統計関連学会連合大会開催支援 (500千円)
 - (平成19年9月6日～9月9日、参加者数377名)
 - テーマ: 統計データから見たEUと日本経済・関西経済について

2 学術成果の公開

- (1) 学術研究成果刊行支援(学術研究成果刊行への助成) 2,860千円
 - 経済学研究科 (1,860千円)
 - ・高橋克秀監修『グローバル経済のチャンスとリスク』
(神戸大学グローバル経済展望シリーズ No. 2)
 - ・浦長瀬隆『近代知多綿織物業の発展過程』勁草書房
 - 国際協力研究科 (1,000千円)
 - ・福井清一・高橋基樹編『経済開発論』勁草書房
- (2) 海外学術雑誌投稿支援(海外学術雑誌投稿への助成) 129千円
 - 経営学研究科 (129千円)
 - ・教員の研究論文海外投稿支援(3名) (292千円)
 - 松嶋 登准教授、三古展弘准教授、馬 岩准教授

3 教育の充実

- (1) 田崎奨学基金による奨学金支給・・・・・・・・・・・・・・・・ 300千円
国際協力研究科博士課程前期課程：森 崇雄、近藤恵介
国際協力研究科博士課程後期課程：舟木律子
- (2) 大学院学生に対する支援・・・・・・・・・・・・・・・・ 2,628千円
- 経済学研究科
 - ・フィールドワーク実施支援 (150千円)
 - 法学研究科
 - ・大学院学生の海外研究活動支援（4名、5件） (1,200千円)
法学研究科：佐藤育巳、平野淳一、八島健一郎、春名麻紀
 - ・エクスターンシップ実施支援（64名） (1,278千円)

4 学術基盤の整備

- ・平成18年度は該当事業なし

5 学術交流施設の維持

- (1) 学術交流施設維持支援（学術交流施設の維持・管理等への補助）・・ 12,231千円
- ・「ロイ・スミス館」の老朽化箇所に対する大規模修理の実施 (10,501千円)